

冬季における交通事故防止

冬季は、積雪や路面凍結等ドライバーにとって厳しい条件が重なります。路面が雪や氷で覆われているほか、降雪などにより視界が極端に悪化することがあるため、スリップ事故など冬季特有の交通事故が発生する危険があります。

「急」のつく操作は厳禁

急ブレーキ・急ハンドル・急発進・急加速

など積雪・凍結道路での「急」のつく操作はスリップの原因となります。

急な操作は避け、慎重な運転操作をしましょう。

速度を控えて十分な車間距離を

安全走行の基本は、速度を控えめにし、十分な車間距離をとることです。積雪や凍結道路ではゆっくりとした速度で普段より車間距離を多めにとって走行しましょう。

また、日陰や橋の上などは凍結している場合がありますので、路面状況を確認しながら運転しましょう。



火事には要注意！

冬は空気が乾燥し暖房器具の使用が増えるため火災が発生しやすくなっています。火事を起こさないためにも環境や習慣作りを身に付けることが大切です。

4つの習慣

- ・ 寝たばこは絶対にしない、させない
- ・ 暖房器具の周りに物を置かない
- ・ コンロ使用時はコンロから離れない
- ・ コンセントはほこいを清掃し、不必要なプラグは抜く



大野交番日誌

2月号編集を担当した川合です。

寒さが厳しい季節です。各地でインフルエンザの発生もみられます。感染防止に留意し過ごしましょう。

また火災防止のため、暖房器具を使う際は、火の元には十分注意し、火災が起きないように気を付けましょう。

更に、積雪時には道路状況が非常に悪いことから、慎重な運転を心掛け、事故防止に努めてください。

揖斐警察署
ホームページ

